

企業と大学生が協働し、  
持続可能な社会に向けた解決策を大研究！

# あいちの「人づくり」プロジェクト！



## かがやけ★ あいちサステイナ研究所



### かがやけ★あいちサステイナ研究所とは

未来のあいちの担い手となる大学生が、グローバルな視点を持って継続的にエコアクションを実施することができるよう、愛知県が立ち上げたプロジェクトです。パートナー企業から提示された環境面での取組に関する課題に対し、研究員である大学生が現場での調査や企業担当者とのディスカッションを実施します。解決策を企業側に提案し、その成果を広くPRします。



### 2024年度パートナー企業(五十音順)

**Alpen Group**  
スポーツをもっと身近に

**WOOD FRIENDS**



**Shachihata**



# 2024年度の活動

6月23日(日)

## 開所式



企業、ファシリテーター、研究員全員で顔合わせ。活動のキックオフ！

6月30日(日)・7月7日(日)

## 基礎講座



環境問題やSDGsの基礎を学ぶ講座を受講！昨年度の修了生の貴重な経験談も聴講。

7月～11月

## 企業の 課題研究



チームで企業を訪問。環境取組の現場調査、企業担当者とのディスカッションを実施。

7月～12月

## チーム ミーティング



課題研究後、チーム内で振り返りや企画立案を実施。

10月27日(日)

## 中間発表会



研究成果を中間発表。成果発表会に向けて、発表内容をブラッシュアップ。

## 12月8日(日) 成果発表会・修了式

# パートナー企業の環境課題

## Alpen Group

スポーツをもっと身近に

### 株式会社アルペン

#### 課題

「子どもたちがスポーツを楽しめる社会」を  
将来世代につないでいくための取組を検討せよ

アルペングループでは「スポーツが溢れる未来」を実現するため、自然環境を守り、スポーツ愛好家を育む活動に取り組んでいます。現在スポーツを楽しむ学生の皆さんが親世代になったときにも、未来を担う子どもたちがスポーツを愛し、楽しみ続けられる社会を作っていくために、スポーツ小売としてできる取組を検討します。

## WOOD FRIENDS

### 株式会社ウッドフレンズ

#### 課題

日本の森林資源をサステナブルに活用する、  
「次世代のまちづくり」を企画せよ

ウッドフレンズでは、戸建住宅等での国産木材利用を通じて、森林の価値向上を目指しています。現在、約40%台に留まっている日本の木材自給率を向上させるためには、従来にない新たな発想で国産木材を活用していく必要があります。そこで、国産木材の魅力や、林業の大切さ・課題等を踏まえた上で、日本の森林資源を活用する「次世代のまちづくり」を企画します。



### 株式会社サガミホールディングス

#### 課題

ゆたかな未来を次世代に！  
自然にやさしい商品・サービス・店舗を企画せよ

サガミグループでは、おいしさとおもてなしで、「みんなのゆたかさ」と笑顔の創造を目指しています。気候変動を始めとする様々な環境問題が顕在化している中、ゆたかな自然環境を未来につないでいくことも、企業としての使命です。地域の皆様に育てていただいた、サガミグループの「商品・サービス・店舗」において、自然環境改善につながる新たな取組を企画します。



### シャチハタ株式会社

#### 課題

“しるしの価値”を提供する  
サステナブルな製品・サービスを考案せよ

2025年で創業100周年のシャチハタは、「社会が望む『便利』『楽しさ』『安心・安全』を世界へ」を企業理念として掲げてきました。社会の変化に対応するべく、アナログ・デジタルの両面で、これからも人々の暮らしに寄り添った活動を行っていきたく考えています。そこで、次の100年に向けて、“しるしの価値”を提供するサステナブルな製品やサービスを考えます。



### 大同メタル工業株式会社

#### 課題

大同メタルと地球環境のミライにつながる、  
サステナブルな事業所を提案せよ

大同メタル工業は多種多様な産業分野の回転を支える世界で唯一の「総合すべり軸受メーカー」です。当社は主力の生産拠点として犬山市に事業所を構え、環境に最大限配慮しながら生産活動を続けています。持続可能な自然共生社会の実現に貢献し、地域の方や従業員にとってミライにつながるサステナブルな事業所を実現するため、新たなアクションプランを検討します。



### 株式会社マキタ

#### 課題

建設・農林の現場で女性が活躍するための、  
環境配慮型製品を活用した取組を検討せよ

マキタは「人の暮らしと住まい作りに役立つ工具のグローバルサプライヤー」として取組を推進しています。操作性にも優れた充電式工具等の製品は、環境面だけでなく、女性の社会進出や担い手不足の解消など、様々な面で持続可能な社会に貢献できる可能性を秘めています。そこで、建設・農林の現場で女性が活躍するための、環境配慮型製品を活用した取組を検討します。



### マックスバリュ東海株式会社

#### 課題

環境負荷軽減の側面から「じもの商品」をPRする  
新たなサービスを提案せよ

マックスバリュ東海は、地場野菜や地域産品などの「じもの商品」の販売に力を入れています。この「じもの商品」を、環境負荷低減に貢献できる商品としてわかりやすくお客さまにPRし、販売促進につなげるための新たなサービスを検討します。



### 株式会社LIXIL

#### 課題

オリジナル出前授業「水から学ぶ」を  
リニューアルするためのコンテンツを提案せよ

今年、水まわり・タイル事業 100周年を迎えたLIXILでは、自社製品に関わりの深い「水」の大切さを学ぶためのオリジナル出前授業「水から学ぶ」（小学校4年～6年向け）を実施しています。この出前授業をリニューアルするにあたり、LIXILの優先取組分野の一つである「水の保全と環境保護」と結び付けた、新たなコンテンツを検討します。

## 課題

# 「子どもたちがスポーツを楽しめる社会」を 将来世代につないでいくための取組を検討せよ

アルペングループでは「スポーツが溢れる未来」を実現するため、自然環境を守り、スポーツ愛好家を育む活動に取り組んでいます。現在スポーツを楽しむ学生の皆さんが親世代になったときにも、未来を担う子どもたちがスポーツを愛し、楽しみ続けられる社会を作っていくために、スポーツ小売としてできる取組を検討します。

## 解決策

# 子どもたちと「楽しい」を見つけたい！ 出張授業「未来をつくるスポーツ教室」

### 課題解決の方向性 【考え方】

子どもたちが、様々なスポーツに触れて新しい発見や驚きを感じ、自分に合うスポーツに興味をもつことができる体験プログラムを提案します。プログラムを通して、子どもたちがスポーツ体験を楽しく積み重ね、自信を持って自らの力で「未来をつくる力」を育みます。すべての子どもが楽しめるスポーツ環境を実現します。

### 子どもとスポーツの今

- 体育の時間を除く子どもの運動時間が減少  
1週間の総運動時間（体育の授業を除く）が420分以上の児童生徒の割合が経年的に減少している。（出典：スポーツ庁HP）
- ゲームや動画サイトなどを見る時間が1日5時間以上の子どもたちの割合が増えている（出典：スポーツ庁HP）
- 体育の授業でニュースポーツやパラスポーツを実施している学校がある。

### 子どもが「楽しさ」を見つける体験

- 1 だれもが気軽に楽しめる「新しい」スポーツに出会う。
- 2 自分に合うスポーツを見つける。
- 3 「もっとやりたいこんなスポーツあったらいいな！」と考える主体性・創造性を育む体験をする。

### 出張授業「未来をつくるスポーツ教室」

|   |                        |                     |                    |
|---|------------------------|---------------------|--------------------|
| <b>対象</b><br>小学校低学年（愛知県内ユネスコスクールなど）   | こんなスポーツやグッズがあったらいいコーナー | 環境配慮スポーツグッズクイズ      | パラ競技体験（ボッチャ）       |
| <b>授業科目</b><br>体育・総合的な学習の時間、運動会・スポーツ大会など学校行事も可  | ニュースポーツ体験（モルック）        | アルペンと準備体操           | ニュースポーツ体験（ビックルボール） |
| <b>実施時間</b><br>90分程度（45分×2コマ）   | <b>講師</b><br>※アルペン担当者  | 自分に合うスポーツを見つけようコーナー | パラ競技体験（ゴールボール）     |
| <b>内容</b><br>会場を9つ（3×3）のブースに区切り、ピンゴ形式でブースを選択し、スポーツ体験等を行う。黄色いマスは必須。1ラインを体験する。（ニュースポーツとパラ競技はアルペン店舗でも体験可能） |                        |                     |                    |

### 持続可能な社会へのポイント

- 子どもたちがいろいろなスポーツに出会い、自分が「まだ知らない」「やってみたい」スポーツを体験し、心や体を健全に育む。自己肯定感が高まり、主体的に関わる力を育む。
- スポーツの楽しさを知った子どもたちが、将来的に「楽しさ」を自身の子どもや孫に伝え、一緒に楽しみ、次の世代につなぐことができる。
- パラ競技や環境配慮スポーツグッズに触れることを通して、環境や人との関係性の大切さを学ぶことができる。
- 持続可能な社会の担い手を育む体験を伴う学習（ESD）の実践がされる。



## 研究員メッセージ

研究により、子どもたちがゲームや動画サイトに多くの時間を費やし、体を動かす機会が減少していることがわかりました。一方で、学校の体育の授業ではニュースポーツやパラスポーツが取り入れられつつあります。私たちは、すべての子どもたちが自分に合ったスポーツを見つけ、その楽しさを感じられるようサポートしたいと考えています。スポーツを通じて、好奇心や自己肯定感を育む機会を提供していきます。

### チーム アルペン

愛知大学 3年 池田理菜  
愛知県立大学 3年 稲吉貴登  
名古屋大学 3年 朱延皓

至学館大学 1年 小川英之  
東海学園大学 1年 浅井悠花

### ファシリ テーター

一般社団法人  
SDGsコミュニティ代表理事  
新海洋子



## 課題

### 日本の森林資源をサステナブルに活用する、 「次世代のまちづくり」を企画せよ

ウッドフレンズでは、戸建住宅等での国産木材利用を通じて、森林の価値向上を目指しています。現在、約40%台に留まっている日本の木材自給率を向上させるためには、従来にない新たな発想で国産木材を活用していく必要があります。そこで、国産木材の魅力や、林業の大切さ・課題等を踏まえた上で、日本の森林資源を活用する「次世代のまちづくり」を企画します。

## 解決策

### 幼老複合施設を中心とした三世帯で暮らせる サステナブルな街をつくる

#### 課題解決の方向性 【考え方】

高齢化や晩婚化が進む現在、子育てをしながら親の介護もしなければならない未来がくると考えた。このため、生物多様性の保全や気候変動に配慮し、国産木材で作られた幼老複合施設や子育てのしやすい住宅のある、サステナブルな街をつくろうと考えた。

#### 環境課題

- 人工林の荒廃
- 生物多様性の損失
- 気候変動

#### 社会的問題

- 晩婚化
- 核家族化
- 少子高齢化

#### 目指す未来

国産木材を利用した幼老複合施設を中心とした、三世帯で暮らせる、  
住むだけで環境課題の解決にもつながるまちづくり

#### 幼老複合施設について

保育園や学童保育などの児童施設と、グループホームや養護老人ホームなどの高齢者施設を併せた施設

子供の  
社会性育成

高齢者の  
孤立感軽減

世代間の絆や  
コミュニティ形成

#### 街の特徴

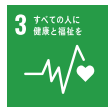
- 1 幼老複合施設が街の中心となっているので、子育てと介護を両立させやすい。
- 2 街の中には木材を活用した休憩スペースやインクルーシブ公園があり、子供や高齢者だけでなく幅広い世代の方が交流しやすい。
- 3 木質バイオマスの活用や収穫、植林、育林のサイクルを行いながらまちづくりを行うため、住むだけで環境課題の解決に貢献できる。

#### ウッドフレンズの強みを生かしたまちづくり

ウッドフレンズの住宅は高耐震、高耐久、高品質が特徴であり、たとえ大きな地震が来ても安心でき、さらに次世代まで暮らすことのできる住宅を提供することができる。

#### 持続可能な社会へのポイント

- 休憩スペースやインクルーシブ公園を設置することにより、子供から高齢者まで幅広い世代の健康や福祉の支援を行える。
- 子供から高齢者まで幅広い世代にやさしい都市設計をすることにより、持続可能なまちづくりを推進できる。
- 国産木材を活用することにより、持続可能な資源利用と地域経済の活性化が見込める。



## 研究員メッセージ

当初私たちは、街をつくるという大規模な課題に対して、どのようにアプローチするべきか、想像が付きませんでした。しかし、日本が抱える問題と森林資源の活用、そしてウッドフレンズの強み、という三つの軸に加え、「私たちが住みたい街」という視点を取り入れ議論を重ねた結果、次第に解決策の方向性が見え始めました。私たちが考えた提案が、2050年に向けた持続可能な未来の創出に貢献できることを願っています。

#### チーム ウッド フレンズ

愛知県立大学 3年 安藤晴紀 南山大学 3年 小幡花音  
愛知教育大学 2年 峠谷歌音 名古屋産業大学 2年 富田卓介  
中部大学 2年 松永蓮平

#### ファシリ テーター

ビオトープ・  
ネットワーク中部  
会長 長谷川明子



課題

## ゆたかな未来を次世代に！ 自然にやさしい商品・サービス・店舗を企画せよ

サガミグループでは、おいしさとおもてなしで、“みんなのゆたかさ笑顔の創造”を目指しています。気候変動を始めとする様々な環境問題が顕在化している中、ゆたかな自然環境を未来につないでいくことも、企業としての使命です。地域の皆様に育てていただいた、サガミグループの「商品・サービス・店舗」において、自然環境改善につながる新たな取組を企画します。

解決策

## 廃棄そばに新たな価値を！ ～「環境」と「ひと」にやさしい取組～

課題解決の方向性  
【考え方】

飲食店では消費量に対して一定の余剰を必要とするため、食品ロスを全てなくすることは難しいという課題があります。国内の外食産業でそばの消費量1位であるサガミが、生そばの廃棄量を“ゼロ”にすることを目標に、「環境」と「ひと」にやさしい「商品・サービス・店舗」づくりを提案します。

### ゼロ そばロス0×地域社会

現状

ゆでる前の生そばの廃棄が  
各店舗で1日  
20人前以上出ている

飲食店なので消費量に対し  
一定の余剰は必要のため、  
廃棄ゼロにすることは難しい



#### STEP.1 廃棄予定の生そばをお菓子風にアレンジ

廃棄予定の生そばを揚げることで  
お菓子風にアレンジする

サガミの看板商品である  
そばの食品ロスを  
ゼロにできる

料理の待ち時間に  
提供することで、待ち時間を  
楽しいものにできる



#### STEP.2 お菓子と店舗の閑散時間を活用した地域交流

STEP1の揚げそばの味付け体験などを通して、サガミの店舗を  
子供と高齢者が交流できる場にする。

地域交流によって高齢者の独居問題や  
子供の“こしょく”(孤食、個食、子食)  
問題を解決する。



#### 持続可能な社会へのポイント

- 自然にやさしい＝環境、ひと両方にやさしいと考えることで、サステナブルな社会を創出する。
- 食品ロスを減らすのではなく“ゼロ”にすることで、飲食店特有の問題の根本的な解決につながる。
- 廃棄そばを揚げた“揚げそば”を活用し、子供と高齢者の関わりの場を作ることで、高齢者の独居問題や生きがい、そして子供の“こしょく”といった様々な問題も解決できる。



### 研究員メッセージ

サガミではSDGsの活動を積極的に行っており、これ以上貢献できることはあるのかと、悩みながら始まった課題研究でした。しかし、サガミの「人々の節目に寄り添う」という理念を元に考えることで、「SDGs＝環境」という観念に加えて、「ひと」に対してもやさしい店舗作りが必要ではないかと感じるようになりました。私たちの提案が、「環境」と「ひと」の両方にやさしい、サステナブルな社会に近づくための1歩になれば幸いです。

チーム  
サガミ

名古屋大学 大学院 1年 上田悠馬 愛知工業大学 3年 柴田知哉  
名古屋商科大学 2年 滝野歩叶 愛知教育大学 1年 竹内佐和  
中央大学 1年 林小優音

ファシリ  
テーター

le-puro 代表  
清水君代



課題

## “しるしの価値”を提供する サステナブルな製品・サービスを考案せよ

2025年で創業100周年のシャチハタは、「社会が望む『便利』『楽しさ』『安心・安全』を世界へ」を企業理念として掲げてきました。社会の変化に対応するべく、アナログ・デジタルの両面で、これからも人々の暮らしに寄り添った活動を行っていきたく考えています。そこで、次の100年に向けて、“しるしの価値”を提供するサステナブルな製品やサービスを考えます。

解決策

## 環境を守る活動を「しるし」に ～シャステナ・プロジェクト～

課題解決の方向性  
【考え方】

シャチハタ株式会社が環境活動に積極的に取り組んでいることを多くの人に知ってもらいたい。そこで、シャチハタが誇る「重ね捺しスタンプラリー」の技術を活用し、年間を通した持続可能な環境活動プログラムを提案します。

### 体験型環境活動 × 重ね捺しスタンプラリー シャステナ・プロジェクト



その他にも浜辺の掃除やアカウミガメの保護など、一年を通して体験型環境活動を行い、「重ね捺しスタンプラリー」を完成させる体験型サービスを提供します!!

### 持続可能な社会へのポイント

- スタンプラリーで、環境活動に参加してもらうきっかけを作れる。
- 実際にオオキンケイギクの駆除や竹林整備などを行うことで、環境を守る行動について学べる。
- 企業や自治体、学校などとの連携により、継続的に開催できる。
- プロジェクトを成し遂げ、得た“しるし”から次の行動へつなげられる。



## 研究員メッセージ

私たちは課題研究を通して、シャチハタ株式会社では環境に配慮したロングライフで高品質な商品開発が行われていること、生態系へ被害を及ぼすおそれのある特定外来生物など、さまざまな学びを得ました。私たちの提案するプロジェクトによって、自然や生態系について改めて目を向けて、環境を知り、守ろうと行動する人が増えることを期待します。

チーム  
シャチハタ

東海学園大学 1年 太田結子  
愛知教育大学 2年 小祝彩愛  
名古屋産業大学 4年 服部佑哉  
南山大学 3年 小原弘大  
名古屋商科大学 2年 高橋海波

ファシリ  
テーター

NPO法人  
子ども&まちネット  
理事長 水野真由美



**課題**

## 大同メタルと地球環境のミライにつながる、 サステナブルな事業所を提案せよ

大同メタル工業は多種多様な産業分野の回転を支える世界で唯一の「総合すべり軸受メーカー」です。当社は主力の生産拠点として犬山市に事業所を構え、環境に最大限配慮しながら生産活動を続けています。持続可能な自然共生社会の実現に貢献し、地域の方や従業員にとってミライにつながるサステナブルな事業所を実現するため、新たなアクションプランを検討します。

**解決策**

## 「工場」×「自然」×「地域」のネットワーク ～犬山の地からつながりを拡充～

課題解決の方向性  
【考え方】

大同メタル工業の技術力、立地や既存の地域への取組状況に着目し、従業員や地域住民にとって憩いの場となり、多くの生物が訪れるビオトープの設置を提案します。また、ビオトープを活用したイベントを催し、参加者が各自でも自然共生の取組を上げられる企画を考えました。

### 地域全体をまきこんだ 自然との共生社会の新しいカタチ

01

#### ビオトープの設置

従業員や地域住民、生き物の憩いや交流の場を提供。

04

#### エコロジカル ネットワークの形成

大同メタル工業が中心となりイベント参加者とビオトープをつなげていく。



02

#### 大同メタル工業の 技術を活用

技術力を応用して水資源の再利用を図る。

03

#### イベントでの交流

地域住民や次代を担う子どもたちにSDGsのイベントを開催する。

### 持続可能な社会へのポイント

- [01] ビオトープの設置によって、水と炭素の循環や交流・癒しの場を提供する。
- [02] 自然との共生を目指した活動を社会に広く知ってもらうことで、投資や長期的な経営基盤の強化という好循環につなげる。
- [03] イベントでの体験を通じて自然と社会のかかわりについて理解し、考えを深める機会を増やす。
- [04] 大同メタル工業を中心としたネットワークの形成により、犬山市全体の生態系を守り、広げていく。



## 研究員メッセージ

「サステナブル」な事業所とは何か、研究員で議論し、今回の提案につなげました。ビオトープとしての場所を大切にしつつも、その場所に留まることなく、エコロジカルネットワークの拠点、そして地域のつながりの拠点となる場所をイメージして考えました。ツアーやイベントなどの体験を伴った学習が、多くの人に持続可能な社会への取組を身近なものとして考え、行動につなげる機会になったら嬉しいです。



チーム  
大同メタル

名古屋大学 3年 草間美咲  
愛知県立大学 4年 築山誠大  
名古屋経済大学 2年 山田昇汰  
名古屋市立大学 2年 澤井優希  
東海学園大学 1年 早川大貴

ファシリ  
テーター

フィットラボ代表・  
環境カウンセラー  
松本イズミ



## 課題

# 建設・農林の現場で女性が活躍するための、 環境配慮型製品を活用した取組を検討せよ

マキタは「人の暮らしと住まい作りに役立つ工具のグローバルサプライヤー」として取組を推進しています。操作性にも優れた充電式工具等の製品は、環境面だけでなく、女性の社会進出や担い手不足の解消など、様々な面で持続可能な社会に貢献できる可能性を秘めています。そこで、建設・農林の現場で女性が活躍するための、環境配慮型製品を活用した取組を検討します。

## 解決策

# 持続可能な形で 女性も輝いて働ける社会を！

### 課題解決の方向性 【考え方】

女性をはじめとした誰もが自分らしく働ける事が持続可能な社会と考えました。その実現のために、コミュニケーションを図りながら働く環境を共に創っていく提案を考えました。また、持続可能な社会に向けて、次世代の子ども達に向けたプログラムを考えました。

### 対象 建設業で働く女性・男性

#### マキタGIRLS トークROOM

会社で1人しかいない女性が  
仲間を見つけられる場所を！

マキタのホームページに  
色々なトークルームを設置

トークルームの1つに建設・農林の  
現場で働く女性のための  
「マキタGIRLSトークROOM」を作る

普通の悩みや働く楽しさなどを  
共有する場所となる

#### 男女の意識改革

マキタの製品カタログに  
生の女性の声をまとめたページを掲載



働くみんなの相互理解

現場で働く女性も男性も意識が変わる！

### 対象 次世代を担う子ども達

#### 中学生の授業を 使ってアプローチ！

中学1年  
2年生

職業講座  
職場体験講座

45分  
×2コマ

#### 授業プログラム案

##### ●ねらい

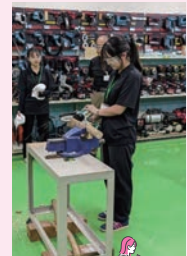
マキタの製品の  
使いやすさ

現場で働く  
女性の姿

##### ●体験

インパクトドライバー・丸ノコ  
枝切りはさみ・ファンジャケットを  
体験できる4つのブースを設置し、  
マキタの環境配慮型製品を体験！

現場で働く女性が  
講師を行う！



女性の職業選択の1つとなる！



### 持続可能な社会へのポイント

- 孤独感を抱いている現場の女性がつながる場を提供することで、女性がイキイキと働けるようになる。  
そのような女性たちが未来の現場女子のロールモデルとなる。
- 子ども達へ働きかけることで、業界全体の人材不足解消につながり、建設・農林業の持続可能な発展につながる。
- 性別に関わらず全ての人に訴えかけることで、建設・農林の職場全体に変革をもたらすきっかけとなる。



## 研究員メッセージ

「女性が活躍」とは何を指すのか、という定義について考えることから、たくさんの議論を重ねました。建設・農林の現場では力仕事が多いため、女性が男性と全く同じように働くのは難しいです。だからこそ、女性が得意なことに目を向けていくべきだと考えました。これは性別関係なく、一人一人の得意を生かした働き方にもつながっていきます。私たちが提案する取組が、誰もが自分らしく働ける社会の実現の一助となることを願います。

#### チーム マキタ

愛知教育大学 3年 江川真太郎 名古屋大学 1年 浅野七星  
東海学園大学 1年 坂倉貴太 愛知淑徳大学 1年 松原心美

#### ファシリ テーター

愛知淑徳大学  
コミュニティ・コラボレーションセンター  
秋田有加里



課題

## 環境負荷低減の側面から「じもの商品」をPRする 新たなサービスを提案せよ

マックスバリュ東海は、地場野菜や地域産品などの「じもの商品」の販売に力を入れています。この「じもの商品」を、環境負荷低減に貢献できる商品としてわかりやすくお客さまにPRし、販売促進につなげるための新たなサービスを検討します。

解決策

### 試食×口コミ 「じもの商品」でつながる地域の環<sup>わ</sup>

課題解決の方向性  
【考え方】

「じもの商品」の魅力や価値を理解してもらうために、試食・投票イベント「「じもの商品」トーナメント」の開催と、口コミの掲示を企画しました。また、消費者の声である口コミを生産者に届けることで、両者がつながる仕組みとすることを考えました。

### 【「じもの商品」試してみても環<sup>わ</sup>?】「じもの商品」トーナメント

#### 01 「じもの商品」トーナメントの開催

- 「じもの商品」をたくさんの方に知ってもらうきっかけを提供する。
- 試食後、リーフ型シールに口コミを書いてもらい、木のイラストに貼ってもらう。
- 「じもの商品」と環境負荷低減の関係性についても掲示する。



試食することで、「じもの商品」の魅力に気づいてもらう。

商品の購入を通じて環境負荷低減に貢献できることを理解してもらう。

#### 02 トーナメントを勝ち抜いた商品を積極的にPR

- 勝ち抜いた「じもの商品」はグランプリとして売り場の目立つ位置で販売する。
- グランプリを目指したい生産者が、商品PRの改善等を行うことで、商品の魅力が向上し、購買率が上がる。

#### 03 消費者の声を生産者に届ける

- シールに書かれた消費者の声を生産者に届ける。

生産者はやりがいを感じ、より魅力的な商品づくりにつながる。

「環<sup>わ</sup>」に込めた意味・・・「じもの商品」を通じて、生産者、消費者、地域の「環<sup>わ</sup>」のつながりを強化し、より良い環境を目指す。

#### 持続可能な社会へのポイント

- フードマイレージの削減ができる。
- 消費者自身の環境負荷低減の意識向上につながる。
- 「じもの商品」の認知度向上により、地域を活性化できる。
- 生産者と消費者との間に良好な関係を築くことができる。



### 研究員メッセージ

「『じもの商品』試してみても環<sup>わ</sup>?」という新たなサービスは、環境負荷を低減するとともに、地元の産業の振興など、地域活性化にもつながるサービスです。試食と口コミを通して、消費者である私たちの意識が変わっていくことが、環境問題の解決に役立ちます。皆さんで持続可能な社会に向けた取組を進めていきましょう!

チーム  
マックス  
バリュ

愛知工業大学 3年 草野菜汰 愛知教育大学 2年 桑原結子  
愛知県立大学 3年 古林滉稀 名古屋商科大学 1年 当麻剛  
愛知学院大学 2年 林留菜

ファシリ  
テーター

アルト・ファシリテート  
代表 葛原祐季



## 課題

# オリジナル出前授業「水から学ぶ」を リニューアルするためのコンテンツを提案せよ

今年、水まわり・タイル事業100周年を迎えたLIXILでは、自社製品に関わりの深い“水”の大切さを学ぶためのオリジナル出前授業「水から学ぶ」(小学校4年～6年向け)を実施しています。この出前授業をリニューアルするにあたり、LIXILの優先取組分野の一つである「水の保全と環境保護」と結び付けた、新たなコンテンツを検討します。

## 解決策

# 「水から学ぶ」を「自ら学ぶ」へ 社会にインパクトを与え続けられる小学生を目指して

### 課題解決の方向性 【考え方】

オリジナル出前授業が始まって10年。より現代に求められる教育へのリニューアルを目指して、水に関する専門的な観点とSDGsの観点を楽しく学べるクイズに組み込み、節水行動について自ら考えられる新しい出前授業を提案する。

## 水の循環を学ぶところ

### 現状

#### 何を学ぶのかを児童自身が忘れてしまう

- 自分が1番に「ゴール」することが目的になっている
- 水の循環を理解するためのカードを読まない児童がいる
- SDGsの「誰一人取り残さない」という考え方が異なる

#### 「水」の理解を深めグループで協力する内容に変更

### 提案POINT

- マスにとまる→オリジナルクイズを実施
- クイズは出前授業の予復習や環境問題に関する内容
- 「スタート」「ゴール」をなくクイズに正解して理解を深めることを目指す
- ▶ 個人間で競争する形式からグループで協力する形式に変更

★全員で協力して水の循環と大切さを深く理解する

## 自分たちができることを考えるディスカッション

### 現状

#### アクティブラーニングの観点から 主体的な学びと継続性が必要

- アウトプットの時間の不足
- 出前授業後の継続のツールがない
- 小学生への問いかけが抽象的

#### 「自ら学ぶ」につなげる

### 提案POINT

- 話し合いの時間を増やす(3分→20分)
- 「今日学んだこと」を
- 節水のポスターを作成して配布、行動の継続を促す 振り返る
- ▶ 「それぞれのコミュニティで自分たちができること」を考える

★段階を踏んで理解を深め、主体的な学びにつなげる

★自ら考えたアイデアを実践し、社会にインパクトを与え続けられる小学生へ

## 持続可能な社会へのポイント

- 小学生が主体的に学ぶことによって水の大切さをより深く理解することができる。
- 社会のために考え、行動できる人を増やし、将来、地域や町全体で協力して、水を大切に使う活動に取り組むことができる。
- 出前授業を受けた小学生が、「世界のすべての人が安全な水を手に入れるために何ができるのか」を考え、行動につなげることができる。



## 研究員メッセージ

私たちはこの研究活動を通して、自分たちが水の大切さを理解し、小学校高学年の子どもたちにどのように伝えたらしっかり伝わるのかということを探求してきました。リニューアルした出前授業をより多くの子どもたちに受けてもらい、子どもたちの理解・行動を促したうえで、最終的には、「世界中のすべての人が、安全できれいな水を手に入れられる」世界が実現することを願っています。

### チーム LIXIL

中部大学 1年 近藤海斗  
愛知教育大学 2年 土井瑞希  
名古屋商科大学 1年 山本花姫

愛知県立大学 3年 高橋里歩  
中京大学 4年 丸山敦也

### ファシリ テーター

NPO法人アスクネット  
顧問 白上昌子



# これまでに参加いただいた 研究員所属大学及びパートナー企業・団体

## 研究員所属大学 (28大学)

愛知大学、愛知学院大学、愛知教育大学、愛知県立大学、愛知工業大学、愛知淑徳大学、金城学院大学、至学館大学、椋山女学園大学、  
 星城大学、大同大学、中京大学、中部大学、東海学園大学、名古屋大学、名古屋学院大学、名古屋学芸大学、名古屋経済大学、名古屋工業大学、  
 名古屋産業大学、名古屋商科大学、名古屋女子大学、名古屋市立大学、南山大学、日本福祉大学、人間環境大学、三重大学、名城大学

| No | パートナー企業<br>(参画当時の企業名を使用)              | 年度        | No | パートナー企業<br>(参画当時の企業名を使用)            | 年度        |
|----|---------------------------------------|-----------|----|-------------------------------------|-----------|
| 1  | アイシン精機(株)                             | 2015・2016 | 24 | 東京海上日動火災保険(株)                       | 2019・2020 |
| 2  | (株)アルペン                               | 2023・2024 | 25 | 東邦ガス(株)                             | 2015・2016 |
| 3  | イケア・ジャパン(株)IKEA長久手                    | 2017・2018 | 26 | 東レ(株)                               | 2019・2020 |
| 4  | (株)伊藤園                                | 2018・2019 | 27 | 凸版印刷(株)                             | 2019・2020 |
| 5  | (株)ウッドフレンズ                            | 2023・2024 | 28 | 豊島(株)                               | 2021・2022 |
| 6  | 花王(株)                                 | 2018・2019 | 29 | トヨタ車体(株)                            | 2018・2019 |
| 7  | (株)加藤建設                               | 2022・2023 | 30 | 中日本高速道路(株)                          | 2018・2019 |
| 8  | (株)コメダ                                | 2021・2022 | 31 | (株)ナゴヤキャッスル                         | 2016・2017 |
| 9  | (株)サガミホールディングス                        | 2024      | 32 | 西尾信用金庫                              | 2022・2023 |
| 10 | (株)サーラコーポレーション                        | 2020・2021 | 33 | 日本ガイシ(株)                            | 2020・2021 |
| 11 | (株)サンゲツ                               | 2022・2023 | 34 | (株)パローホールディングス                      | 2022・2023 |
| 12 | JAグループ愛知                              | 2017・2018 | 35 | ホーユー(株)                             | 2021・2022 |
| 13 | 敷島製パン(株)                              | 2022・2023 | 36 | (株)マキタ                              | 2023・2024 |
| 14 | シャチハタ(株)                              | 2024      | 37 | マックスバリュ東海(株)                        | 2024      |
| 15 | 新日鐵住金(株)名古屋製鐵所                        | 2017・2018 | 38 | (株)三井住友銀行                           | 2015・2016 |
| 16 | スターバックスコーヒージャパン(株)                    | 2017・2018 | 39 | 三井不動産商業マネジメント(株)<br>ららぽーと名古屋みなとアクルス | 2019・2020 |
| 17 | 積水ハウス(株)                              | 2018・2019 | 40 | (株)Mizkan Partners                  | 2016・2017 |
| 18 | ソニーグローバルマニュファクチャリング<br>&オペレーションズ(株)※1 | 2015・2016 | 41 | (株)三菱東京UFJ銀行                        | 2016・2017 |
| 19 | 大同メタル工業(株)                            | 2024      | 42 | 名鉄観光サービス(株)                         | 2016・2017 |
| 20 | 中京テレビ放送(株)                            | 2020・2021 | 43 | (株)メニコン                             | 2019・2020 |
| 21 | 中部国際空港(株)                             | 2016・2017 | 44 | ユニー(株)※2                            | 2015・2016 |
| 22 | 中部テレコミュニケーション(株)                      | 2020・2021 | 45 | 吉本興業(株)                             | 2020・2021 |
| 23 | (株)デンソー                               | 2017・2018 | 46 | (株)LIXIL                            | 2024      |

※1 2015年度はソニーイーエムシーエス(株) ※2 2015年度はユニーグループ・ホールディングス(株)

研究所の活動をご覧ください



公式Webページ

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo/sustaina-ken.html>



X(旧Twitter)

@kagayake\_aichi



## 持続可能な開発目標(SDGs)とは

持続可能な開発目標(SDGs)とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。愛知県は2019年7月に内閣府から「SDGs未来都市」に選定され、SDGsの取組を積極的に推進しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

